

第2回

Informal JPIC 関東甲信越研究会プログラム

- 日時：2015年10月10日（土曜日）11：30～17：00
- 場所：埼玉医科大学かわごえクリニック 6階大会議室
〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町 21-7
- 参加費：1000円

【演者の先生方】

- ✚ すべてPC発表形式とさせていただきます。Windows、Macintosh本体をお持ちください。
- ✚ Mini D-sub 15pinへの接続に必要なアダプターをお持ちください。
- ✚ 口演10分、討論5分を目安にお願いいたします。

【ご注意とお願い】

- ✚ クロークはございません。お手荷物は各自管理をお願いいたします。
- ✚ 駐車場の準備はございません。公共交通機関の利用をお願いいたします。

【館内のご案内】

- ✚ 移動はエレベーターを使用ください。
- ✚ 館内はすべて禁煙です。

【午前の部】

11:30

開会挨拶：葭葉 茂樹（埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科）

11:35～12:10

一般演題1 塞栓術1

座長：

コメンテーター：矢崎 諭（榊原記念病院 小児科）

1-1 大腿動脈から左鎖骨下動脈へアプローチできない！APCsに対するコイル塞栓術のための工夫

演者：清水 寛之（埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科）

1-2 Dual supply でない肺動脈と交通していたためデバイスの選択に苦慮した主要体肺側副血行路に対する塞栓術

演者：藤本 一途（昭和大学横浜市北部病院 循環器センター）

12:10～13:30

昼食、休憩
ハンズオン、製品提示

13:30～13:40

世話人会決定事項の説明

【午後の部】

13:45～14:20

一般演題2 ステント

座長：

コメンテーター：杉山 央（東京女子医科大学 循環器小児科）

2-1 第5大動脈弓遺残を合併した第4大動脈弓縮窄に対してステント留置を行った1例

演者：藤井 隆成（昭和大学横浜市北部病院 循環器センター）

2-2 AP shunt 狭窄に対する冠動脈ステント留置術 –ガイディングシースを使用することにより
大腿動脈アプローチが可能となったカテーテルインターベンション-

演者：安原 潤（埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科）

14:30～15:15

一般演題3 心房中隔欠損、動脈管開存、その他

座長：

コメンテーター：小林 俊樹

3-1 ASO 施行後1年8ヶ月で一過性に右肺うっ血、肺高血圧症を呈した女児例

演者：田中 健佑（群馬県立小児医療センター 循環器科）

3-2 超体出生体重児、慢性肺疾患、肺高血圧を合併した蛇行動脈管開存に対するコイル塞栓術

演者：大木 寛生（東京都立小児医療センター 循環器科）

3-3 様々なカテーテル治療を駆使したが究明できなかった無脾症候群、共通房室弁、両大血管右
室起始、肺動脈閉鎖の1症例

演者：安済 達也（自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児科）

15:15～15:30

休憩

15:30～16:15

一般演題4 塞栓術2

座長：

コメンテーター：富田 英（昭和大学横浜市北部病院 循環器センター）

4-1 内頸静脈穿刺の際に生じた、椎骨動静脈瘻に対するコイル閉鎖術

演者：安原 潤（埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科）

4-2 Femoral AV fistula に対するコイル塞栓術

演者：橋本 康司（東京女子医科大学 循環器小児科）

4-3 右下腹壁動脈損傷により後腹膜、腹腔内出血を来した新生児に対する緊急コイル閉鎖術

演者：小島 拓朗（埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科）

16:15～16:45

持ち込み症例、相談症例

何でも結構です。

16:45

閉会挨拶：小林 俊樹（埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科）

